



すぎなみ

# 教育報

第185号  
 平成19年6月29日  
 発行 杉並区教育委員会  
 杉並区阿佐谷南1-15-1  
 ☎3312-2111 FAX 5307-0692  
 教育委員会ホームページ  
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>  
 区公式ホームページ  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

## 学校を強力にサポート！ 2007 教育委員会の取組み

教育委員会では、平成19年度、様々な学校現場の課題解決をサポートする体制を整えていきます。  
 このうち、済美教育センターが新たに取り組む二つの事業を紹介します。

学校の課題  
 解決力向上を  
 支援します。

**いじめ・不登校・学級崩壊。  
 放っておきません！**

サット  
**教育SAT**  
 (緊急対応チーム)

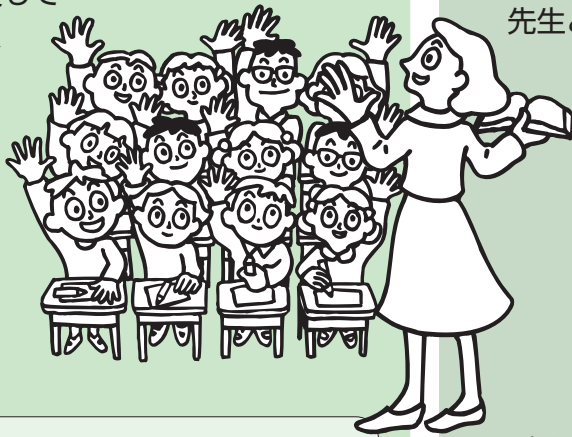
困ったらすぐ電話！全力で対応いたします！

**3311-0023** (SAT直通)

いじめや自殺など学校現場を取り巻く社会問題が後を立たない中、「いじめ」、「不登校」、「学級崩壊」等、学校現場の緊急課題に対処するための専門チームを立ち上げました。それが教育SAT(スクール・アシスト・チーム)です。

チームは、指導主事、元校長等、社会福祉士、心理専門職、専門医等で構成し、学校、子ども、保護者、地域などからの要請に対して学校が迅速かつ適切に対応できるようにあらゆる側面から学校を支援していきます。また、子ども、保護者、区民等からの直接の相談にも責任をもって対応します。

日頃からいじめが起らないような学級経営のための教職員研修を実施したり、児童・生徒間のコミュニケーション能力向上を図るために、「人間関係構築プログラム」を開発し提供したりしていきます。



**「SAT特別支援教育チーム」** ～問合せは学務課特別支援教育担当へ～

通常学級において、特別な教育的支援が必要な子どもたちが安心して学べるよう、発達障害等のある子どもの指導経験の豊富な教員が、子どもの指導方法などについて、担任の先生等に実践的なアドバイスをを行います。19年度は主に、情緒通級指導学級への入級を待機している子どもたちを対象にしています。

**【済美教育センター】**

TEL 3311-0021

URL <http://www2.city.suginami.tokyo.jp/seibied/index.asp>

“人を育てる人”を育てる  
**授業力向上塾**

学校の授業を楽しく、  
 わかりやすくします。

子どもたちの能力を引き出したい。教えるべきことを児童にうまく伝えたい。そんな意欲と熱意を持つ区立学校の先生たちが、子どもたちの確かな学力と体力を育む授業を創造していく力(=授業力)を身に付けるための学びの場。それが授業力向上塾です。指導主事や校長OB、認定講師など経験豊かな講師のもとで、年間を通じて国語・算数・体育の他、食育や特別支援教育についても研修を行います。

第一回目の講義では、活発な意見交換、質問が交わされ、先生たちの「やる気」が伝わってきました。これから、授業研究や模範授業の観察などを継続して行い、先生としての使命感と授業力を高めていきます。



初めての国語の勉強をする小学1年生に日本語の良さを教えてあげたい！(国語の講義から)

「認定講師」事業…授業力に優れた教員を講師として認定し、そのノウハウを他の教員に伝授するとともに、教員研修の活性化を図るものです。

**杉並教育研究会設立** ～子どもの学びの連続性に立った教育を行うために～

杉並教育研究会は、区の教育水準を向上させるために設立された、区立小・中学校・幼稚園の先生による研究組織です。これまで幼・小・中で分かれていた研究会を一つにし、幼から小、小から中に進学する子どもたちが戸惑わない、継ぎ目のない教育が受けられるよう、研究を進めていくとともに、教育委員会と連携して「教育立区」の実現を目指します。

5月16日、杉並公会堂で設立総会が行われ、記念講演に立った教育長は「学校は変わらなければいけない。教育改革の主役は学校だ。先生方は教育の専門家としての自覚と誇りをもって取り組んでほしい。」と学校主導の教育改革を訴えました。

▶ **JR高円寺駅前に図書サービスコーナーを開設!** 高円寺駅前図書サービスコーナーは、区立図書館公式ホームページで予約した本を受け取ることができる便利な窓口。夜間も1階のブックポストへ返却できます。(蔵書はありません) 窓口の開設時間やお休みの日など、詳しくは下記ホームページをご覧ください。  
 杉並区立図書館公式ホームページ <http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>  
 : JR高円寺駅北口ホテルメッツ高円寺3階(区民事務所併設) ☎3223-8473

区役所いつでも電話サービス  
**#8800**



# 杉並師範館の第一期生が卒業 杉並区独自に養成した先生が誕生しました。

杉並区独自に教師を養成する「杉並師範館」の第一期生が3月に卒業しました。人を教える人間力を養うとともに、実践的指導力に重点をおいた杉並独自のカリキュラムを一年間学んだ第一期生20名は、この4月から区内小学校の先生の一員としてそれぞれ頑張っています。現在、杉並師範館では、4月に入塾した第二期生31名の新たな養成が始まっています。

## なぜ杉並区独自に先生を養成するの？

杉並師範館は、「教育は人なり」の理念のもと、子どもへの深い愛情と教育への熱い情熱を持ち、そして自分の仕事に強い使命感をもった教師を、区独自に養成し、採用していただく先生の卵のための学び舎です。

区の教員として採用後は、杉並から離れることなく、杉並の教育にずっと携わっていくことができます。そのため、地域への愛着は深まり、地域と一体となった教育活動のリーダーになっていくことも期待できます。



緊張感とともに情熱が伝わってくる教員発令式。新しい先生の誕生です。

タネタはここが分からない



「一面と書いて、指導主事」ってなあつた。

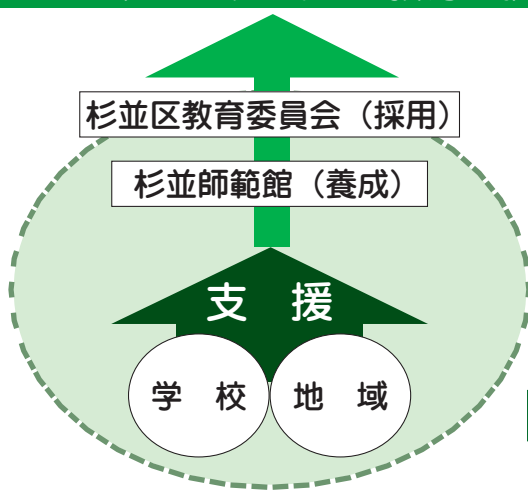
## より質の高い教育を目指して

杉並区では、「学校が自ら持つ力」、「地域の支援する力」、「教育委員会の支援する力」の三つからなる「学校力」の向上に向けて取組みを進めています。その一環としての区独自の教師養成と採用によって、子どもたちによりきめ細かな充実した教育を提供することができます。

地域が自ら質の高い教師を育てることで、より質の高い教育が実現できるというモデルを杉並区が示し、全国に一石を投じていきます。杉並区の教育をよりよいものとするため、ご指導・ご支援をお願いします。

▲ 問合せ先：杉並師範館事務局 ☎3311-2900

## 学校力の向上 よりきめ細かな充実した教育の提供



## 桃四ギヤラリーバス、走る！



私たちのバスに乗ってね！

関東バス（株）青梅街道営業所管内のバス車内に、桃井第四小学校の児童が考案した「善福寺名物」や、卒業生の描いた壁画を展示しています。地域と学校の新しいつながりとして、今後も趣向を凝らした桃四児童のメッセージを継続的に掲示していく予定です。皆さんも機会があったら、ぜひ「桃四ギヤラリーバス」に乗ってみてください。



「野の育て方」授業 収穫小学校2年生

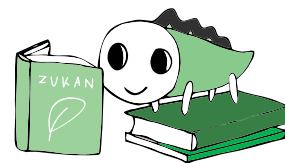
# 食育は生涯にわたる健康づくりの基礎となるものです！

## 食育ってなんだ？

すぎなみ地域大学では「食育ボランティア養成講座」が6月1日から開講、食や地域への関心を持つ方が積極的に参加しています。学校の食育授業にもボランティアとして活躍。今皆さんの周りでは食育推進ボランティアが増えています！

食育推進ボランティアはこんなところで活躍します！子育てイベント、父母会・PTA、地域の行事などでの食育講演、クイズ、親子・子ども料理教室、食や栄養に関する相談、生活習慣病・骨粗しょう症予防の食事アドバイス・・・その他様々なご要望にお応えします！！

杉並区は、家庭や地域とともに食育を推進しています。教育委員会では、食や健康について学んでいただきます。授業 家庭科や理科、社会、保健体育、特別活動、総合的な学習の時間などで、食材の栽培・生産・調理・健康に関する学習などさまざまな取組みを展開しています。保護者の方も一緒に、食育授業の公開、PTA主催の試食会、講演会などを開催しています。



# 4月23日は「子ども読書の日」 杉並区の読書推進活動が、文部科学大臣賞を受賞しました。

## 中央図書館 「子どもの読書活動優秀実践図書館」

中央図書館では、4ヶ月児から絵本に親しむ「ブックスタート」、お気に入りの本をアピールする「すぎなみ本の帯アイデア賞」、「子ども読書活動推進委員会」の設置や、中高生の創作の機会と発表の場を提供するための取組みなどを行っています。

また、「調べる学習賞コンクール」は全国的なコンクールですが、地区予選的な杉並版のコンクールも実施。小中学生は「調べる」ことで本の情報の豊富さや重要さに触れていきます。

区立図書館では、昨年度改定した「杉並区子ども読書活動推進計画」に基づき、今後も子どもの読書環境の一層の充実を図っていきます。



## 和田中学校 「読書活動優秀実践校」

多彩な読書活動で表彰された和田中学校。毎朝、生徒も先生もみんなで10分間本を読む朝読書や、「漢字と作文」の時間をはじめ、読書新聞の作成、昼休みや放課後の図書館開放など、本が好きになるための積極的な活動が認められました。各クラスの壁には読書記録が貼られていますが、この活動の成果でしょうか、和田中には年間100冊から200冊読む人がたくさんいます。



和田中名物朝読書。学校中が静まり返ります。

# 「歯の衛生に関する作品」の入賞者・作品が決定

「歯の衛生に関する作品募集事業」は、杉並区歯科医師会・杉並区学校歯科医会の主催で毎年「歯の衛生週間」（6月4日から6月10日）にあわせて実施されています。今年も区立小・中学校の児童・生徒の皆さんから2,000点を超える作品の応募がありました。どれも力作ぞろいのなか、入賞したのは次の方々です。6月23日、区立産業商工会館で優秀作品の表彰式が行われました。皆さん、おめでとうございます！

## 区長賞

- 《区長賞》 新泉小学校 5年 河合菜々美さん
《学校歯科医会会長賞》 桃井第一小学校 3年 副島直人さん
《歯科医師会会長賞》 新泉小学校 5年 後藤真澄さん

- 《金賞》 桃井第一小 3年 太田陽夏子さん 高井戸第二小 2年 奥井遼さん
松ノ木小 5年 佐野裕希さん
荻窪中 2年 須田恵美さん 荻窪中 2年 高澤敬さん
《銀賞》 8名 (小学校7名・中学校1名) 《銅賞》 15名 (小学校13名・中学校2名)

## 標語入賞者

- 《金賞》 若杉小 3年 鮎沢弥奈さん 若杉小 6年 梶本優子さん
四宮小 3年 猶原美奈さん 浜田山小 6年 酒原華英さん
浜田山小 6年 高山美樹さん 久我山小 2年 久保未奈子さん
富士見丘中 3年 田中春菜さん 泉南中 3年 早間綾香さん
《銀賞》 14名 (小学校8名・中学校6名) 《銅賞》 23名 (小学校12名・中学校11名)



学校歯科医会会長賞 副島さんの作品



区長賞 河合さんの作品



歯科医師会会長賞 後藤さんの作品

## 教育委員からの発信

今年度のテーマは「これからの学校」。5人の教育委員が意見を発信します。

### 「これからの学校に望むこと」

教育委員 宮坂 公夫



杉並区では、魅力のある学校教育を実施するために、例えば、特色ある学校づくり、学力・体力の向上、食育の充実、小・中一貫教育、幼小連携教育、就学前教育の推進など様々な教育改革を進めています。特に、民間人校長の登用や杉並師範館の創設などは、全国的にも先進的といえる取組みです。こうした教育改革の取組みは、杉並の子どもの学力向上や健全な成長という成果をいずれもたらすものと期待されます。しかし、これらの改革が目的どおりの成果をあげるためには、学校での日々の教育とともに、背後にある各家庭での保護者の子供たちへの関わり方、つまり家庭教育の在り方が欠かすことのない大切な事と思われまふ。一方、子供達の家庭環境は様々であり、保護者の考え方も必ずしも同じではありません。ごく一部の例ではあっても、給食費の未払い、あるいは学校行事の在り方に対する批判など、数々の困難を耳にする事もありまふ。反面、今は開かれた学校、地域に密着した学校等が要望され、一般の人々が授業参観、行事見学等で学校を訪れる機会も多く、学校への協力と同時に批判の目を向ける可能性も増えているように思われまふ。このような環境の中で、学校側は多くの児童・生徒を集めるため、ややもすると保護者、地域に迎合しがちな雰囲気にも懸念が、本来、開かれる事と迎合する事は別であり、子供たちの将来のためにも学校は校長先生を中心に凛とした教育理念を持ち、時には親をも教育する気概をもってほしいと思っております。同時に、子供たちに対しては、単に知識や技術のみを教えるのではなく、人間如何に生きるべきか、つまり心の教育も行う必要があります。換言すれば、小・中学校の先生は、子供達に対しては学問の師であると同時に人生の師でもあってほしい、具体的には個の尊重とともに社会に対する規範意識をもたせ、時には、ならぬことはならぬを教える。そのような学校であってほしいと願っております。

### 「ご意見をお待ちしています」

「教育委員会からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集しています。ご意見は郵送、または区公式ホームページ「生活ガイド」→「子供教育」→「教育委員会からの発信」にお寄せください。

教育委員会では働いている人だけでなく、学校や教育に関する専門的知識が必要だ。そこで、学校や先生に通う子どもたちが、豊富な経験や知識を活かしながら教育委員会の仕事に加わり、学校のために活躍するんだ。学校のことをさらによく知るために、学校訪問もするよ。



## 杉並区は、家庭や地域とともに食育を推進しています。

教育立区を目指す杉並区は、「楽しく食べて心とからだを育むすぎなみの子 大人になっても健康で楽しく暮らせるすぎなみ」を総合目標に、子どもが生まれる前の妊娠から思春期までのライフステージごとに目標を定めて食育を推進しています。

○学校では 給食 毎日の献立を通して食や健康について学んでいます。

授業 家庭科や理科、社会、保健体育、特別活動、総合的な学習の時間などで、食材の栽培・生産・調理・健康に関する学習などさまざまな取組みを展開しています。

保護者の方も一緒に、食育授業の公開、PTA主催の試食会、講演会などを開催しています。

○地域で 食育推進ボランティア 栄養士や調理師といった食・健康の専門家が学校や地域での食育推進に、様々な場面で活躍しています。

すぎなみ地域大学では「食育ボランティア養成講座」が6月1日から開講、食や地域への関心を持つ方が積極的に参加しています。学校の食育授業にもボランティアとして活躍。今皆さんの周りでは食育推進ボランティアが増えています！

20年度杉並師範館入塾生募集！ 杉並師範館では、地域に密着し、高い志と熱意を持った教師を養成するため、第三期生を募集します。詳しくは、杉並師範館事務局 ☎3311-2900までお問い合わせいただくか、杉並師範館公式サイト (http://www.shihankan.jp) をご覧ください。

歩きながら、元気が文化が生まれる街。

見れば納得の出来ばえ！学校ホームページコンテスト 今年1月から2月にかけて区立小・中学校全68校を対象に開催されました。審査委員にはIT企業等その道のプロも参加。厳しい目で書類審査・画面審査を行った結果、最優秀校は杉並第六小学校 (http://www.suginami6-e.suginami-ky.ed.jp/)、井草中学校 (http://www.igusajh.sakura.ne.jp/) に決定しました。(優秀賞：杉並第一小学校、桃井第四小学校、高井戸小学校、天沼中学校 特別賞：松庵小学校、向陽中学校) プロも認める洗練されたホームページになっています。皆さんもぜひ一度覗いてみてください！ 上記8校には3月27日、表彰状が授与されました。



### 中学生から磨く国際感覚！世界と地域をつなぐ青年部活動！

杉並ユネスコ協会と共催でさまざまなユネスコ事業を行っています。

#### 中学生対象事業その1—「ユネスコ教室」参加者募集

福島県・那須甲子青少年自然の家での3泊4日のサマーキャンプを中心としたプログラム。青年部の企画・運営でいろいろな国の中学生と友情を深めます。

【対象】区内在住・在学の中学生（小学6年生は要相談）

【定員】60名 【費用】20,000円

【日程】（7月30日）開会式、（7月31日）事前学習  
（8月1日～4日）サマーキャンプ （8月6日）閉会式  
（8月7日）JICA訪問 **申込みは先着順、締切り迫る！**



### 青少年 ユネスコ 事業

#### 中学生対象事業その2—「ユネスコ中学生クラブ」

国際理解事業と英会話、スポーツ大会やクリスマスパーティなどのイベントもあり、中学生のもう一つの生活の場となっています。

企画・運営はこちらも青年部です。申込みはいつでも受け付けています！

【対象】区内在住・在学の中学生（小学6年生は要相談）

【年会費】4,000円

【開催日】8月を除いた毎月第2土曜日の午後2時30分から4時30分

#### 元気・ワイワイ・青年部・部員随時募集！

中学生クラブやユネスコ教室参加などをきっかけに、現在青年部員は40名。中学生憧れの良き先輩として各種ユネスコ事業の企画・運営に携わるとともに、スタディツアーなどへの参画を通して、心身ともに日々成長しています。申込みはいつでも受け付けています！

### 高円寺若者雑学塾 (区民企画講座)

### 地域で広げよう！自分のネットワーク！

#### 若者感覚でもっと楽しもう！杉並のまち。

若者が集まり、独特の文化を育んできた高円寺。そうした雰囲気そのままを愛称とする「高円寺若者雑学塾」は、とかく地域と疎遠になりがちな若者が主役の区民企画講座です。高円寺に慣れ親しんだ人もこの講座で「新しい高円寺」に出会えます。発見や知識、人との生身のつながりが「豊かな個人」をつくります。毎月2回程度の企画会議の過程と、まちを舞台にした実践活動は、必ずや「個人の財産」「みんなの財産」となることでしょう。若者の斬新なアイデアと活力、大募集中！

#### 区民企画講座とは？

区民のさまざまな「学びたい」を、区民自らが講座を企画・実施することで実現していきます。若者だけでなく団塊世代などのための「セッション 愉快なおやし塾」もあり、その豊かな社会経験を活かした講座・イベントを開いています。

出会いがあるから楽しい！  
失敗なんて恐れずあなたも挑戦！

### 社会教育センターの 青年・少年対象事業 さあ、どれに参加しよう？

### 「不登校・引きこもり・ニート」等支援

～いつ、誰に起こるとも限らない“こころの問題”～

そんな悩みや不安を抱えた青少年（16歳以上）とご家族のために、相談・支援活動を行うNPO法人等と協力した取り組みを行っています。

- 「出会いの機会」相談・支援団体の情報提供の場として、年2回セッション杉並で開催しています。
- 本人と家族向けのコミュニケーションや自立、引きこもりの背景を学ぶための講座を開催しています。
- 「すぎなみしゃべり場」社会参加の第一歩、居場所づくりとして、毎週火曜日の夜に開催しています。

### 青少年自立支援 プログラム

お問い合わせ・申込みは 社会教育センター ☎3317-6621へ



## 伝統芸能 に挑む

杉並第三小学校では、毎月全校合奏や手話での合唱など、趣向を凝らした「音楽朝会」を行っています。六月七日は四年生の発表。今年の五月から練習を始めた琴や和太鼓など日本の楽器を使った演奏です。保護者も含めた大勢の人の前で、しかも体育館という大きなステージで演奏するのは初めてなので、皆緊張していました。特別支援学級も含めた四年生五十六人全員が、ずらりと並んだ楽器を前に一生懸命奏でる「さくらさくら」や「お祭り太鼓」は、琴が優雅さを、和太鼓が勇壮さを引き立てます。杉三小での演奏のはじまりは古く昭和四十年代に遡りますが、昨年から和太鼓が加わったことでよりいっそう魅力ある演奏会になりました。大きな拍手で幕を閉じた音楽朝会のあと、四年生はそれぞれ別の楽器に挑戦し、日本の伝統音楽への理解をさらに深めていきます。



お昼の校庭に、威勢の良い掛け声と太鼓の音が響き渡ります。五月二十六日、中瀬中学校の体育大会の特別プログラムとして、八成小学校の郷土芸能クラブが、日々の練習の成果を披露しました。皆裸足で踏ん張り、ポーズを決め、演奏に入ります。バラエティに富んだ四曲はどれもばちを天に振り上げたり、ぐるぐる回ったりと全身を使って表現します。その迫力のある演奏は、太鼓の独特のリズムと合わせて、見るものをぐいぐいと引き付けます。現在、クラブのメンバーは二十六名。先輩から後輩へと技術を受け継ぎながら、今後は和太鼓だけでなく、他の楽器、踊りなどを取り入れたものにも取り組み、日本の伝統芸能の魅力を伝えていきます。

現在、学校では、日本の伝統や文化を学び、守っていくと、和楽器や、能など伝統芸能の学習が盛んです。今回はその中から二校を紹介します。

### 教育委員会の動き

19年3月～5月

#### 【教育委員会開催状況】

定例会	6回
臨時会	1回
議案	75件
報告事項	20件

#### 【主な案件】

- は審議、○は報告事項
- 平成19年度杉並区立学校の学期及び休業日について
- 杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則
- 杉並区学校教育職員の給与に関する条例施行規則
- 任期付学校教育職員の採用について
- 「いじめ対応マニュアル」について
- エコスクール化検討懇談会報告について
- 杉並区立杉並第五小学校・若杉小学校統合協議会中間報告・建設検討部会報告について
- 学校ホームページ・コンテストの実施について
- 杉並区立郷土博物館の運営のあり方検討会「最終報告」について
- 平成19年度認定講師事業及び授業力向上塾について
- 杉並区立科学館基本構想策定懇談会提言について

### 杉並ユネスコ協会主催 平和のためのチャリティコンサート～杉並の風を世界へ～

—コンサート収益金は識字教育等の平和運動に寄付されます！— 日時：7月22日（日）午後1時30分開演 場所：杉並公会堂小ホール（上荻1-23-15）内容：○中南米音楽の世界：ロス・アルムノス○ロシアの歌：指揮・福澤昭雄、合唱団「白樺」○アラブ民族楽器ウード演奏：常味裕司○平和の歌・日本の歌：指揮・下田正幸、合唱団「風」費用：大人1500円、小・中学生700円 申込/問合せチケット販売窓口＝杉並ユネスコ協会事務局：国島TEL/Fax03-3394-9482まで

